

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2023年6月21日
【四半期会計期間】	第102期第2四半期（自 2021年7月1日 至 2021年9月30日）
【会社名】	アジア開発キャピタル株式会社
【英訳名】	Asia Development Capital Co. Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 徐 天雄
【本店の所在の場所】	東京都中央区勝どき一丁目13番1号 イヌイビル・カチドキ 4階
【電話番号】	03 - 5534 - 9614（代表）
【事務連絡者氏名】	管理部 IR・総務 添田 邦夫
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区勝どき一丁目13番1号 イヌイビル・カチドキ 4階
【電話番号】	03 - 5534 - 9614（代表）
【事務連絡者氏名】	管理部 IR・総務 添田 邦夫
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

2021年11月15日に提出いたしました第102期第2四半期（自 2021年7月1日 至 2021年9月30日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

(4) 発行済株式総数、資本金等の推移

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

(訂正前)

年月日	発行済株式総数増減数 (千株)	発行済株式総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
2021年7月1日～ 2021年9月30日	80,000	1,561,102	180,000	6,275,283	180,000	2,705,500

(注) 発行済株式総数の増加、資本金及び資本準備金の増加額は、新株予約権の行使による増加であります。

(訂正後)

年月日	発行済株式総数増減数 (千株)	発行済株式総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
2021年7月1日～ 2021年9月30日	80,000	1,561,102	180,000	6,275,283	180,000	2,705,500

- (注) 1. 発行済株式総数の増加、資本金及び資本準備金の増加額は、新株予約権の行使による増加であります。
2. 2020年8月12日に提出した有価証券届出書に記載した新株式及び第14回新株予約権の「具体的な資金使途」、「充当予定額」、「充当予定時期」について、以下のとおり重要な変更が生じております。

(1) 変更の理由

当社は、2021年3月12日付「第三者割当により発行した新株式及び第14回新株予約権の資金使途の変更に関するお知らせ」において、前回増資の発行時における当初の資金使途を変更することを公表いたしました。しかしながら、前回増資において新株式発行により調達した資金にかかる使途の実績を確認した結果、2021年3月12日付の資金使途について公表する以前に、前回増資の発行時及び資金使途の変更で公表していた資金使途とは異なる資金使途に調達した資金の一部を支出しており、2021年1月中までには前回増資で発行した新株式により調達した資金全額を支出していたことが判明いたしました。前回増資により調達した資金に係る支出実績は下記「(2) 変更の内容 <株式>」に記載のとおりですが、経緯としましては当社の連結子会社であるアジアビジネスファイナンス株式会社が、2020年12月4日に、普濟堂株式会社（本店所在地：東京都渋谷区神宮前5-36-14、代表取締役：黄桃梅）へ700百万円を貸し付けた際、同日付で当社がアジアビジネスファイナンスへ当該貸付のための資金として、調達した資金から692百万円を支出、30百万円の増資引受（1株あたり50,000円、引受株式数600株）にあたり、2020年12月18日付で29.9百万円を調達した資金から支出、さらに2020年12月25日に、普濟堂株式会社へ299.9百万円を貸し付けた際、同日付で当社がアジアビジネスファイナンスへ当該貸付のための資金として、調達した資金から30百万円を支出しております。

第14回新株予約権に係る資金使途につきましても、前回増資において新株予約権の発行により調達した資金にかかる使途の実績を確認した結果、2021年3月12日付の資金使途について公表する以前に、前回増資の発行時及び資金使途の変更で公表していた資金使途とは異なる資金使途に調達した資金の一部を支出していたことが判明いたしました。前回増資により調達した資金に係る支出実績は「(2) 変更の内容 <第14回新株予約権>」に記載のとおりですが、経緯としましては2021年2月26日から2021年3月17日までの期間で当社の経費支出に係る運転資金として約13百万円を調達した資金の一部より支出、2021年2月26日に当社子会社のワンアジア証券株式会社の増資引受の資金として60百万円、2021年3月2日付で当時の当社子会社であったCleath Biomass Energy Sdn.Bhd（所在地：No. 237, Lot 7894, 2nd Floor, Assyakirin Commerce Square, Jalan Sultan Iskandar, 97000 Bintulu, Sarawak, Malaysia、代表者：Managing Director 背戸克稔、小川泰史）の株式取得に係る資金として約23百万円、当社の連結子会社であるアジアビジネスファイナンス株式会社が、2021年3月5日に、株式会社A.Cインターナショナル（本店所在地：東京都港区赤坂5-3-1赤坂Bizタワー27階、代表取締役：荒金和則）へ150百万円を貸し付けた際、同日付で当社がアジアビジネスファイナンスへ当該貸付のための資金として、調達した資金から約148百万円を支出、2021年3月9日付で既存借入金の返済資金として115.7百万円、2021年4月9日付で当社子会社であるワンアジア証券株式会社の増資引受資金として約92.9百万円を調達した資金の一部より支出しております。

(2) 変更の内容

(変更前)

< 株式 >

(単位：百万円)

具体的な資金使途	充当予定額	充当予定時期
売掛債権担保融資事業に係る資金	820.2	2020年10月～2023年3月
中古車割賦販売事業に係る資金	450.0	2020年10月～2023年3月
質金融及び中古品買取事業に係る資金	150.0	2020年10月～2023年3月
運転資金	181.8	2020年10月～2023年3月
既存借入金の返済資金	380.0	2020年10月～2023年3月
合計	1,982.0	-

(変更後)

< 株式 >

(単位：百万円)

具体的な資金使途	充当予定額	充当予定時期	充当済額
質金融及び中古品買取事業に係る資金	150.0	2020年10月	150.0
運転資金	44.0	2020年10月～ 2021年1月	44.0
既存借入金の返済資金	376.7	2020年10月	376.7
アジアインベストメントファンド株式会社への投融資	624.5	2020年10月～ 2021年1月	624.5
証券口座への預託金	50.0	2020年11月	50.0
アジアビジネスファイナンス株式会社での貸金業に係る資金	722.6	2020年10月～ 2020年12月	722.6
アジアビジネスファイナンス株式会社の増資引受資金	29.9	2020年12月	29.9
合計	1,997.0	—	1,997.0

(変更前)

<第14回新株予約権>

(単位：百万円)

具体的な資金用途	充当予定額	充当予定時期
売掛債権担保融資事業に係る資金	719.8	2020年10月～2023年3月
中古車割賦販売事業に係る資金	580.0	2020年10月～2023年3月
質金融及び中古品買取事業に係る資金	400.0	2020年10月～2023年3月
運転資金	192.2	2020年10月～2023年3月
合計	1,892.0	-

(変更後)

<第14回新株予約権>

(単位：百万円)

具体的な資金用途	充当予定額	充当予定時期	充当済額
アジアインベストメントファンド株式会社での投資事業に係る資金	1,445.3	2021年2月～ 2021年7月	1,445.3
アジアビジネスファイナンス株式会社での貸金業に係る資金	148.7	2021年3月	148.7
運転資金	13.0	2021年2月～ 2021年3月	13.0
ワンアジア証券株式会社の増資引受資金	152.9	2021年2月～ 2021年4月	152.9
海外子会社の株式取得に係る資金	23.0	2021年3月	23.0
既存借入金の返済資金	115.7	2021年3月	115.7
合計	1,899.0	-	1,899.0